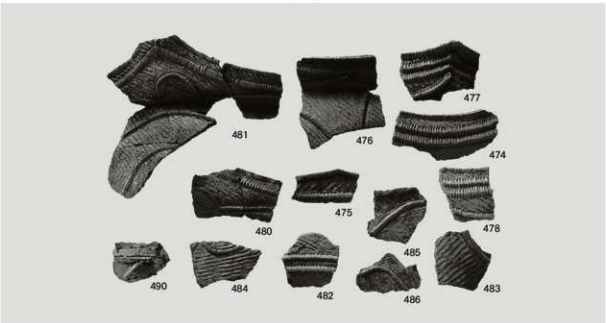
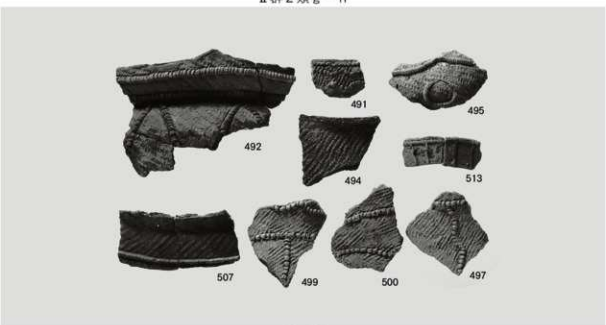
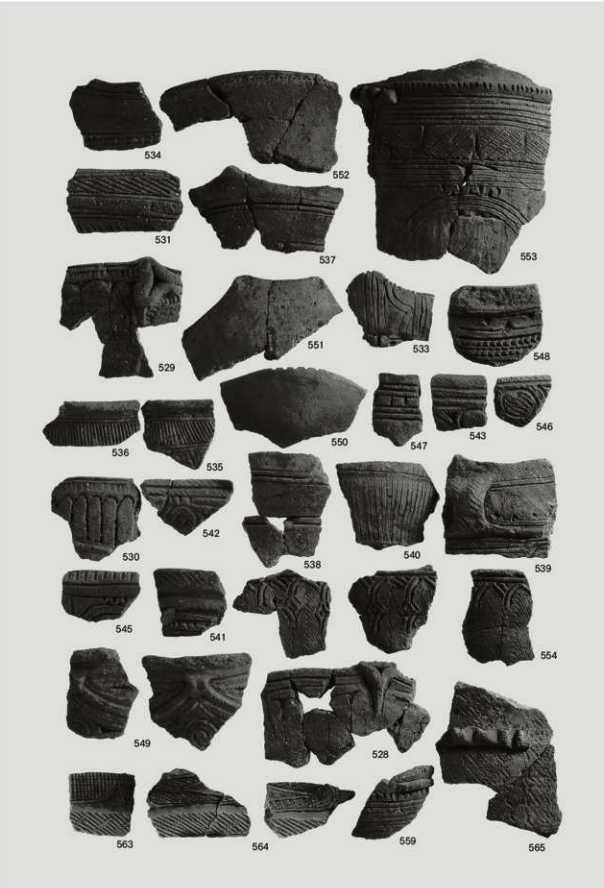
Ⅱ群２類ｆ



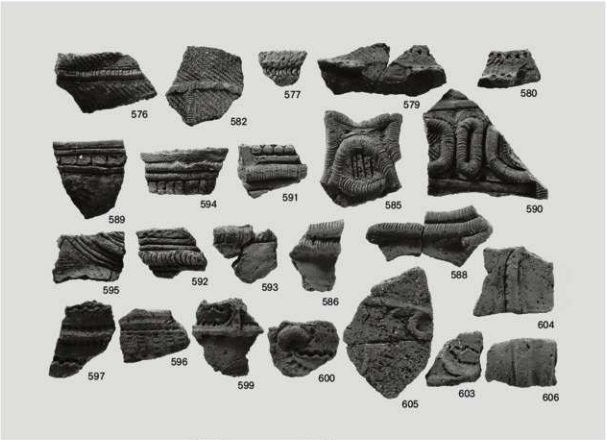
Ⅱ群２類ｇ・ｈ



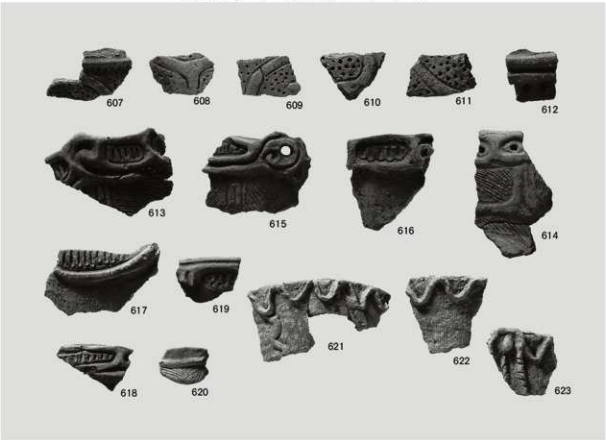
Ⅱ群２類ｉ


534
552
553
531
537
529
551
533
548
536
535
550
547
543
546
530
542
538
540
539
545
541
554
549
528
563
564
559
565

Ⅲ群 1 類 a

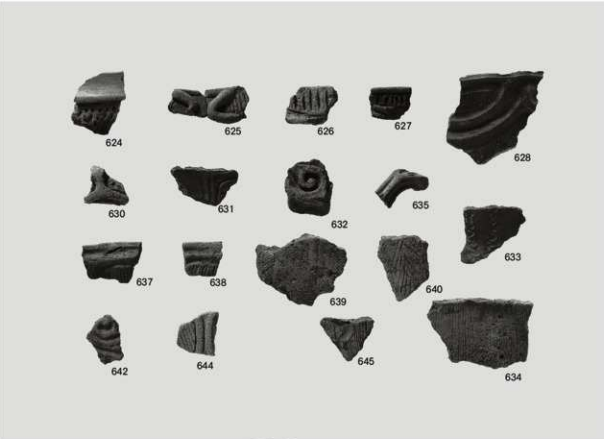


Ⅲ群１類ｃ・ｄ・Ⅲ群２類ａ・ｂ・ｃ・ｄ



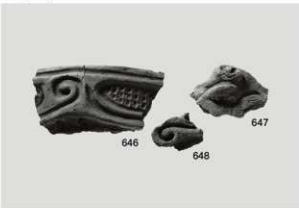
Ⅲ群３類ａ

図版 56



Ⅲ群３類ａ・ｂ・ｄ

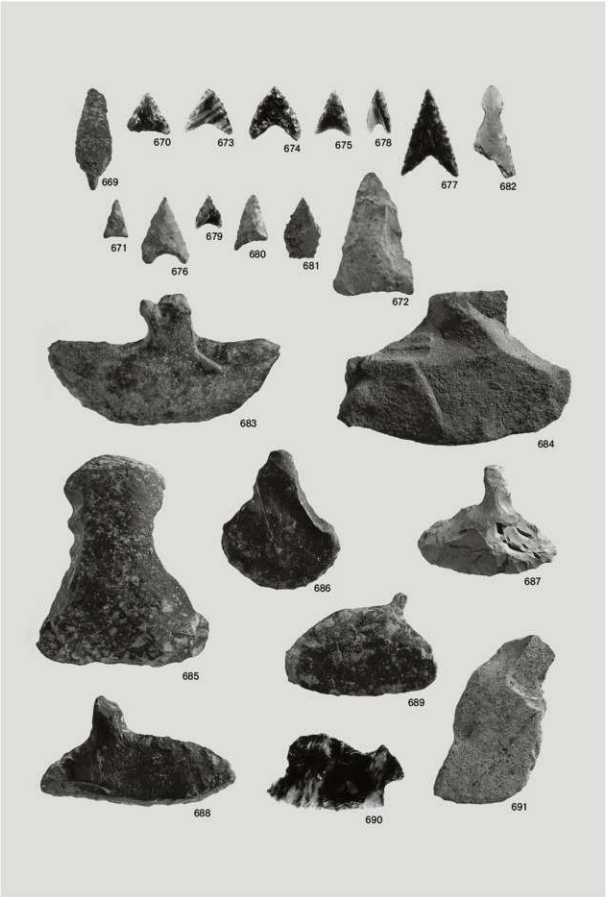
Ⅲ群３類ｃ



Ⅲ群３類ｅ

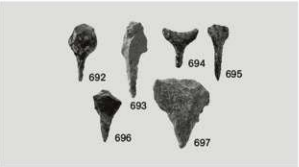
Ⅲ群３類ｅ・Ⅳ群ａ

Ⅳ群ｂ


669
670
673
674
675
678
677
682
671
676
679
680
681
672
683
684
685
686
687
689
688
690
691

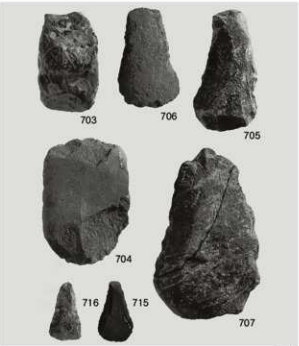
有茎尖頭器・石鏃・石匙

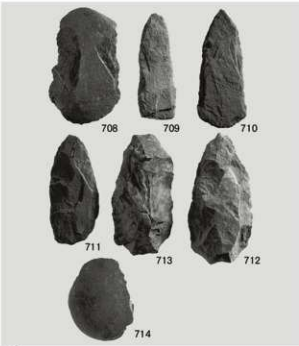
図版 58



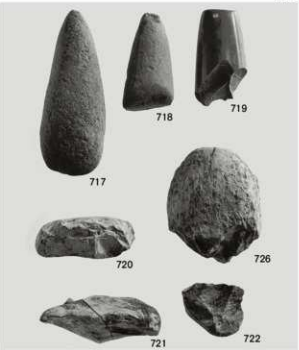
石錘

スクレイパー

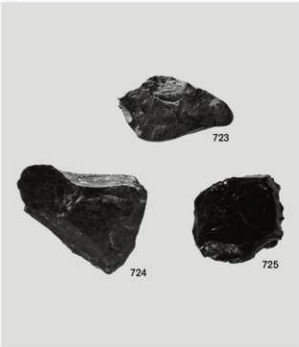




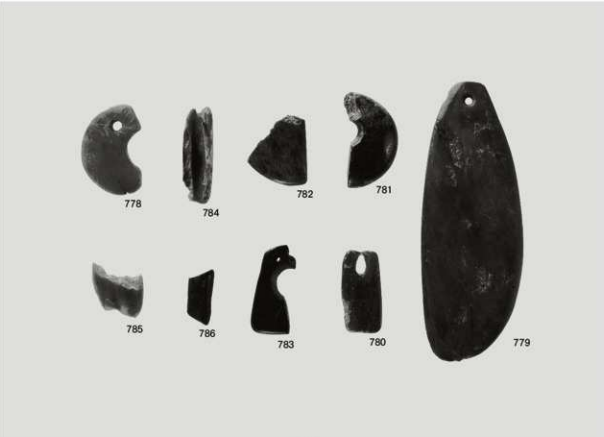
打製石斧



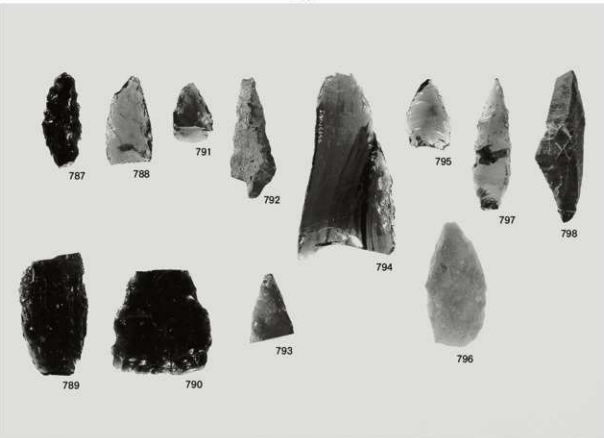
磨製石斧・礫器・石核



石核


778
784
782
781
785
786
783
780
779

玉類


787
788
791
792
795
797
798
794
789
790
793
796

旧石器

中尾沢遺跡　第２遺構面全景

分地遺跡　全景

中尾沢遺跡　ＳＨ１

ＳＨ２遺物出土状況

中尾沢遺跡　ＳＨ３

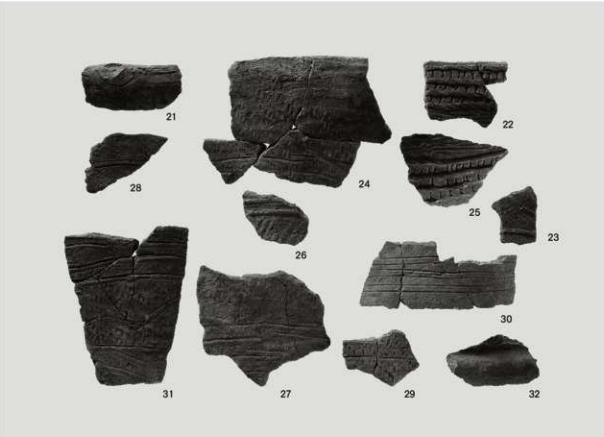
ＳＨ４

分地遺跡　ＳＤ１

ＳＤ２

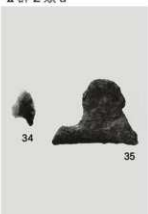
図版 64

中尾沢遺跡古墳時代土師器



中尾沢遺跡　Ⅱ群２類 a

中尾沢遺跡　Ⅲ群１類 a



中尾沢遺跡　剥片石器

中尾沢遺跡　打製石斧

分地遺跡　出土土器

分地遺跡　石鏃

報告書抄録

ふりがな	ふじおかいちこふんぐんほか
書名	富士岡１古墳群他
副書名	平成21・22・24年度地域活性化基幹農道愛鷹２期地区農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財センター調査報告
シリーズ番号	第37集
編著者名	岩崎しのぶ　西田真由子　株式会社加速器分析研究所
編集機関	静岡県埋蔵文化財センター
所在地	〒422-8002　静岡県静岡市駿河区谷田23－20　TEL 054－262－4261㈹
発行年月日	2013年３月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町名	コード 道路番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
富士岡１古墳群（ふじおかいちこふんぐん）	静岡県富士市富士岡（しずおかけんふじしふじおか）	22210		35°10′22″	138°43′44″	200908～201007 201206～201208	1556.9㎡	記録保存調査
向山遺跡（むかいやまいせき）	静岡県富士市中里字向山（しずおかけんふじしなかざとあざむかいやま）	22210		35°10′21″	138°43′54″	200908～201003 201004～201008	1434.2㎡	
中尾沢遺跡（なかおさわいせき）	静岡県富士市中里字中尾沢（しずおかけんふじしなかざとあざなかおさわ）	22210		35°10′19″	138°43′58″	201005～201008	333.8㎡	
分地遺跡（ぶんじいせき）	静岡県富士市中里地先（しずおかけんふじしなかざとちさき）	22210		35°10′10″	138°44′5″	200908～201008	330㎡	

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
富士岡１古墳群	古墳・集落	古墳時代後期	古墳周溝３・溝状遺構２ほか	土師器（坏身・坏蓋）	
		古墳時代前期	竪穴建物５・掘立柱建物１・竪穴状遺構１・方形周溝墓５・溝状遺構２ほか	土師器（壺・台付甕・高坏・鉢・小型鉢）	
		縄文時代	竪穴状遺構１・集石５・埋甕・性格不明遺構１	縄文土器・土製品（土製円板・玦状耳飾）・石器（石鏃・石匙・石錐・スクレイパー・打製石斧・磨製石斧・石核・石錘・磨敲石・石皿）・石製品（玦状耳飾）	・包含層から縄文前期の諸磯ｂ式、十三菩提式、中期の五領ヶ台式土器が多く出土
		旧石器時代		尖頭器・ナイフ形石器	
向山遺跡	集落	中近世	溝状遺構２・土坑13	陶磁器	
		古墳時代前期	竪穴建物４・掘立柱建物１・竪穴状遺構１・溝状遺構１・性格不明遺構２ほか	土師器（壺・台付甕・小型鉢）・鋼鏃・磨製石鏃	
		縄文時代	竪穴住居１・竪穴状遺構６・集石11・性格不明遺構１ほか	縄文土器・土製品（土製円板）・石器（有茎尖頭器・石鏃・石匙・石錐・スクレイパー・打製石斧・磨製石斧・石核・礫器・石錘・磨敲石・石皿）・石製品（勾玉・垂飾・玦状耳飾・管玉）	・中期後葉の竪穴住居検出 ・包含層から縄文前期の諸磯ｃ式、十三菩提式、中期の五領ヶ台式土器が多く出土
		旧石器時代		尖頭器・ナイフ形石器	
中尾沢遺跡	集落	古墳時代前期	竪穴建物４・掘立柱建物１・溝状遺構２・土坑４・小穴４	土師器（壺・甕）	
		縄文時代	なし	縄文土器・石器（石鏃・石匙・打製石斧・石核・磨石・石皿）	
分地遺跡	集落	古墳時代以降？・縄文時代	溝状遺構２・土坑・小穴	縄文土器・石器（石鏃・石皿）	

要約

富士岡１古墳群は、全国的に古墳が多いことが知られる富士山南麓から愛鷹山南西麓に位置する古墳群の一つである。富士岡１古墳群内の一部の古墳は発掘調査がなされ、段構造を有する横穴式石室が検出されたことで知られている。また、縄文時代の包含層が存在することも過去の調査で明らかとなっていた。

今回の調査では、古墳の周溝が検出されたとともに、古墳時代前期の集落跡と方形周溝墓が検出された。

縄文時代は早期・前期～中期にかけての遺物が出土したが、中でも諸磯ｂ式土器、十三菩提式土器をはじめとする前期後半代の土器が多数出土した。富士山南麓ではこうした土器がまとまって出土した例は未だかつて恵まれておらず、静岡県東部における前期後半代の土器編年等を考える上でも欠かせない資料と言える。

向山遺跡では古墳時代前期の集落跡が検出された。集落を構成する竪穴建物の中には建築材と推定される炭化物が出土したものが見られる。土師器に伴って鋼鏃が出土したものも存在する。

また、曽利式土器を伴う縄文時代中期後葉の竪穴建物も検出された。縄文時代の遺物は富士岡１古墳群と同様、早期から中期の土器が多く出土した。最も多いのは前期後半代の諸磯ｃ式土器で、十三菩提式土器、中期前半の五領ヶ台式土器も多く出土した。

中尾沢遺跡では古墳時代前期の集落跡が検出された。竪穴建物に伴って土師器が出土した。包含層から縄文時代早期末の土器、諸磯ｂ式土器、五領ヶ台式土器が出土した。

分地遺跡は溝状遺構と土坑・小穴が出土しているが、詳しい時期は不明である。

静岡県埋蔵文化財センター調査報告　第37集

富士岡１古墳群他

平成21・22・24年度地域活性化基幹農道
愛鷹２基地区農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成25年３月29日　発行

編集・発行　静岡県埋蔵文化財センター
〒422-8002　静岡県静岡市駿河区谷田23－20
TEL　054－262－4261㈹
FAX　054－262－4266
印　刷　所　みとり美術印刷株式会社
〒410-0058　沼津市沼北町２丁目16番19号
TEL　055－921－1839㈹